



長崎地本公式 HP 長崎地本公式 X(旧Twitter) 長崎地本公式 Instagram  
 自衛隊長崎地方協力本部の☆公式ホームページ ☆X(旧Twitter) ☆Instagramへはここからアクセス!

長崎地本だより

発行所  
 自衛隊長崎地方協力本部  
 長崎市出島町2番25号  
 TEL 095-826-8844

本年もよろしくお祝い申し上げます 令和6年 元旦

新年のご挨拶

自衛隊長崎地方協力本部長  
 1等海佐 伊東 圭市



新年おめでとうございます。皆様におかれましては、よき新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、旧年中に賜りました自衛隊長崎地方協力本部の活動に対する皆様からの温かいご支援・ご厚情に深く感謝申し上げます。

さて、現在、我が国は戦後最も厳しく複雑な安全保障環境の中にあるといえます。イスラエル情勢の緊迫はもとより、ロシアによるウクライナ侵攻、我が国周辺における中国や北朝鮮の活動といった力による一方的な現状変更の試みが強化されているなど、いくつもの国際社会共通の課題に対応しなければならぬ状況にあります。

一方で、国内に目を転じてみますと、新型コロナウイルス感染症が法律上の5類に移行してから一定の時間が経過し、約3年間にわたり要請されてきた様々な制限から解放される各種イベントが再開するなど、コロナ禍前の日常が戻りつつあるとともに、景気も回復しつつあります。ここ長崎でもインバウンド需要の回復や少子高齢化の影響等から、至る所で人手不足が深刻化しつつあります。

この人手不足は防衛省・自衛隊でも同様に深刻な問題となっており、一昨年末に策定された安全保障3文書でも防衛力の中核たる自衛隊員確保など、人的基盤の強化についても明記されました。長崎地本はこれ

らの情勢を理解のうえ、「組織を支える人」の充実こそが現状では最も重要であり、その中核たる任務に就いていると強く認識しております。

昨年の長崎地本における各種活動は、このような情勢をふまえたうえで試行錯誤して進めてまいりました。募集活動は最も厳しい情勢にあるとともに、我々も前例のない工夫や活動が必要とされています。求職者の仕事選びに係る価値観の多様化、そして自衛隊はその多様性を受け止めることができる組織であるということを認知してもらいために、まずは様々な方々に自衛隊の持つ幅広い業務や、世界の至る所で各種任務に取り組んでいることを正しく理解してもらおうことに努めてまいりました。今年はこの活動をより深化させ、一人でも多くの方に自衛隊の認知から興味関心につながってもらい、自衛隊の業務が有意義でやりがいのある仕事として選ばれるよう努力していく所存です。

また、就職支援に関しましても、若年定年制、任期制の該当隊員が、自衛隊で培った知識や経験を活かし、少しでも民間企業等の人手不足の解消につながるよう最適なマッチングを図るための工夫を進めているところです。この再就職という「出口」をしっかりとすることはひいては募集という「入口」や自衛隊の支援拡大にも貢献するものと信じております。そして、予備自衛官制度は人材確保が厳しい状況下において、いまや自衛隊の能力を最大発揮するため必要不可欠な人的資源となっております。民間企業等の皆様に対する当制度の理解促進とご協力について引き続きお願いをしているところで

す。私も長崎地本長に就任し約1年経過しましたが、各募集関係職員や援護関係職員が決して目立つことのない地道な仕事ではあります。過去に例を見ないような厳しい国内外情勢の影響を真正面から受けながら、人的基盤の強化に係る強い使命感のもと、身を挺して対応している姿を見てまいりました。

そして、地本を支えて頂いている多くの皆様、国防の重要性、自衛隊の任務、地本の業務について深くご理解のうえ、厚いご期待とご信頼を寄せておられることを肌で感じることで、大変心強く感じております。このような内外の皆様の努力やご期待に応えるため、改めて地本長としての責任の重大さを痛感している次第です。

本年も、我が国や自衛隊を取り巻く厳しい環境が継続されることが予想されます。長崎地本はより一層重要となつているその任務を改めて認識のうえ、皆様の期待と信頼に応えるべく内外関係者との連携を大切に、「県民とのかけはし」として力を尽くしてまいります。皆様におかれましては、変わらぬご理解とご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、本年の皆様にとって健やかで幸多き一年となることをご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



長崎県防衛協会 会長  
長崎県知事 大石 賢吾

新年明けましておめでとうございます。

自衛隊長崎地方協力本部の皆様、県内の陸海空自衛隊の皆様、並びに長崎県防衛協会をはじめ自衛隊協力団体の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

自衛隊長崎地方協力本部におかれましては、昭和30年に長崎地方連絡部として設立されて以来、長きにわたり、自衛官の募集や就職援護活動をはじめ、災害対応や国民保護業務における自衛隊と県内自治体等との連携にご尽力いただき、心から感謝を申し上げます。

さて、我が国を取り巻く安全保障環境は、ロシアのウクライナ侵攻や、北朝鮮の度重なるミサイル発射など、厳しさが一層増しており、様々な課題や不安要素が顕在化しております。

そのような中、自衛隊の皆様には、海上自衛隊第22航空群による離島地域からの急患搬送が、昭和33年の開始から既に約5,200回を超えるなど、長年にわたり、昼夜を問わず献身的な活動を賜っておりますことに、深く感謝申し上げます。

また、本年3月には、大村市に所在する陸上自衛隊竹松駐屯地に、第3水陸機動連隊が新編されることとなり、国境離島をはじめ多くの離島を有する本県としましては、非常に心強く

思っております。

改めて申し上げますまでもなく、自衛隊の皆様におかれましては、わが国の平和と安全を守ることはもとより、災害等への派遣活動、国際平和維持活動への参加など、大変重要な任務に日々精励されております。自衛隊の皆様は、なくてはならない存在として、国民・県民のみならず、国際社会からも厚い信頼と大きな期待が寄せられております。

どうか隊員の皆様には、国の安全を守り、国民の生命・財産を守るため、引き続きご活躍をいただきますようお願いを申し上げますとともに、本県の安全・安心の確保に向けた取組に対しましても、さらなるお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、自衛隊長崎地方協力本部、県内の陸海空自衛隊、並びに長崎県防衛協会をはじめとする自衛隊協力団体の限らないご発展と、新しい年が関係皆様方にとりまして素晴らしい一年となりますことを心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



公益社団法人長崎県自衛隊家族会  
会長 前川 要次

新年あけましておめでとうございます。希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

旧年中は、長崎県自衛隊家族会の運営に對しまして、家族会会員の皆様・自衛隊長崎地方協力本部の皆様を始め、陸海空自衛隊並びに自衛隊協力諸団体各位に温かいご支援とご協力賜りました事に、心より厚くお礼申し上げます。

長崎県自衛隊家族会は、新型コロナウイルス感染症の影響で書面決済報告をさせて頂いておりましたが、昨年ようやく3年ぶりに、常任理事・理事を含め、大人数での開催となり、ご来賓をお招きして総会を開催し盛会のうちに終了する事が出来ました。

総会で永年、ご活躍頂いた浦田正会長が勇退され、新会長として前川要次が就任する事になりました。会員の皆様各部隊・並びに自衛隊協力諸団体の皆様方のご協力を賜りながら努めて参りたいと思っております。

昨年は、地震・記録的な豪雨災害特に全国各地において、熱中症アラート警報が長期間発令される猛暑に悩まされた年でした。国内においては、災害現場においては災害救援活動等、国外においては、南シナ海における中国の軍事力を背景とした現状変更とその事実化・度重なる尖閣諸島の領海侵犯ロシア軍の北方領土を含む活動の活発化・北朝鮮による弾道ミサイル発射等

脅威が増して来ており、こうした情勢

の変化の中で、離島防衛も重視される昨今であり、国民の安全確保・領土・領海の維持の為に、水陸機動団が重視され離島防衛訓練も順調に進んでおり、水陸機動団においては、令和6年度大村市に三つ目の連隊が竹松駐屯地に新編される事で、心強く思っている所です。また、海外においては、水上部隊による派遣海賊対処行動情報収集活動等にあつてはエネルギー供給ルートの確保任務も重要で、日常生活を送れるのも自衛隊の活動があつてのものと感じ申し上げます。

自衛隊家族会は、広く国民の防衛意識の普及高揚に務めると共に自衛隊に対する協力・支援等を通じ、我が国の安全保障・防衛基盤の確立に寄与することを目的としています。私たちは、隊員の最も身近な存在であることに誇りを持ち、隊員の皆さんが安心して隊務に専念出来ますよう、更に家族会の充実を図ってまいります。

皆様方の今後のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

#### ◎家族会の心構え

- 一、自らの国は自ら守る防衛意識を高めます。
- 一、自衛隊員募集・就職援護と家族支援に協力します。
- 一、会員数を増大し組織の活動力を高めます。



長崎防衛協会  
会長 渡邊 悦治

新年おめでとうございます。皆様におかれましては、令和六年の輝かしい新春をお健やかに迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

さて、一昨年のロシアのウクライナに対する軍事侵攻が、国際社会に大きな衝撃を与えたのに加え、昨年は、過激派組織ハマスによるイスラエルに対する4,000発に及ぶミサイル攻撃及び人質事件が発生し、これに対して、イスラエルがハマスを掃討するための地上軍事作戦をガザ地区で展開するなど、国際社会は混乱の時代に入ってしまった。国連安全保障理事会は国際社会の平和と安定のため機能することが、依然としてできていません。この不安定な中東情勢は、決して我が国に無関係ではなく、インド太平洋地域の安全保障にも影響することが指摘されています。

一方、我が国周辺地域に目を転じますと、異例の3期目に突入した習近平中国国家主席は、台湾について武力行使による統一を放棄しない考えを依然として堅持しており、台湾をめぐる情勢は引き続き緊迫しています。さらに南シナ海を中国の主権の及ぶ海域とした地図を公表し、米国偵察機への異常接近、あるいはフィリピン海軍艦艇に対する進路妨害など、我が国周辺の情勢も緊迫度を一層増しております。

問わず、年末年始に関わらず、今、この瞬間も我が国周辺の海空域の警戒監視を継続されるとともに日本から遠く離れた海外で、厳しい任務に従事しておられます。

自衛隊の皆様のみならず、我々国民にもこれら内外の急激に変化する状況下において、いかなる情勢にも冷静かつ迅速に対処する姿勢を貫く覚悟が必要であると思います。

長崎防衛協会は、名実ともに『行動する防衛協会』として今後一層の熱意を持って、防衛思想の普及に努め、自衛隊の隊員の皆様の生の声を聴取できる部隊研修を積極的に推進するとともに、部隊指揮官等の方々の講演の機会を設けて、自衛隊の活動への理解をより深めてまいります。

今年も、自衛隊長崎地方協力本部の協力を得て、積極的に自衛隊の支援、防衛思想の普及に邁進したいと思っております。今後とも、関係各位のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、全国に所在する防衛省・自衛隊隊員の皆様の今後益々のご活躍とご安全を心からお祈り申し上げますとともに、当協会会員をはじめ関係者皆様にとりまして、良い年となりますように祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



公益社団法人隊友会 長崎県隊友会  
会長 江見 雅博

明けましておめでとうございます。自衛隊長崎地方協力本部の皆様及び同OB会会員の皆様には、ご家族おそろいで、新年を迎えられたことと、心からお喜び申し上げます。

令和5年もまた、昨年に続き中国からやってきた新型コロナウイルスのため、日本中が大きな混乱の中にありますが、ようやく2類から5類になり、徐々にコロナ禍以前に戻りつつあります。

令和5年の隊友会の活動は、徐々に以前の活動に戻りつつあり、6月に4年ぶりの県総会、防衛講話、懇親会を行うことができました。また、11月には九州沖縄ブロック研修会を佐世保で実施することができました。これも、偏に皆様のご協力の賜と感謝申し上げます。

昨年2月にロシアによるウクライナ侵略が生じました。隣国ロシアによる暴挙は我が国の安全保障を速やかに再構築しなければならぬことを教えています。漸く防衛3文書が策定されましたが、まだまだ、これからともいえます。北朝鮮の核の脅威は従前と変わらず、中国の現状変更の試みも台湾情勢や尖閣諸島の侵犯状況を見ても分かる通り、依然続いていきます。最近でもイスラエルとハマスの紛争があり、世界中で戦火の絶えることはありません。また、大規模災害も各地で頻発しており、自衛隊の置かれている環境は、コ

ナの影響を受け、とみに厳しくなっています。その中で国民の97%以上が自衛隊に期待し、信頼を寄せていることを考えると、現役自衛官の高い緊張感を持って勤務するご苦労に、国民の一人として、感謝申し上げます。

自衛隊員が誇りを持って勤務に邁進できる環境や、任務遂行の装備の充実に向け、隊友会としても積極的に取り組んでいるところです。

隊友会は、自衛隊と国民の架け橋となることを目標に掲げております。長崎県隊友会としては、最強の支援団体たるべく、防衛意識の普及高揚を図るとともに、自衛隊が働きやすい環境を作るために県民の皆様への啓蒙活動を続けてまいります。

最後に、本年が皆様にとって、良い年となりますよう祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



令和5年度隊友会九州・沖縄ブロック研修会懇親会にて大石知事と記念撮影



諫早  
地域事務所

辰年! 昇り龍のごとく、出辰(立)、  
飛び辰(立つ)、勇み辰(立つ)、  
諫早地域事務所に栄光あれ。



大村  
地域事務所

地域の皆さんから慕われる  
募集事務所を目指します!



佐世保  
出張所

募集目標、龍成!



長崎  
募集案内所

今年は所員一同募集の  
達(辰)人になります。



琴海  
地域事務所

健康第一!!



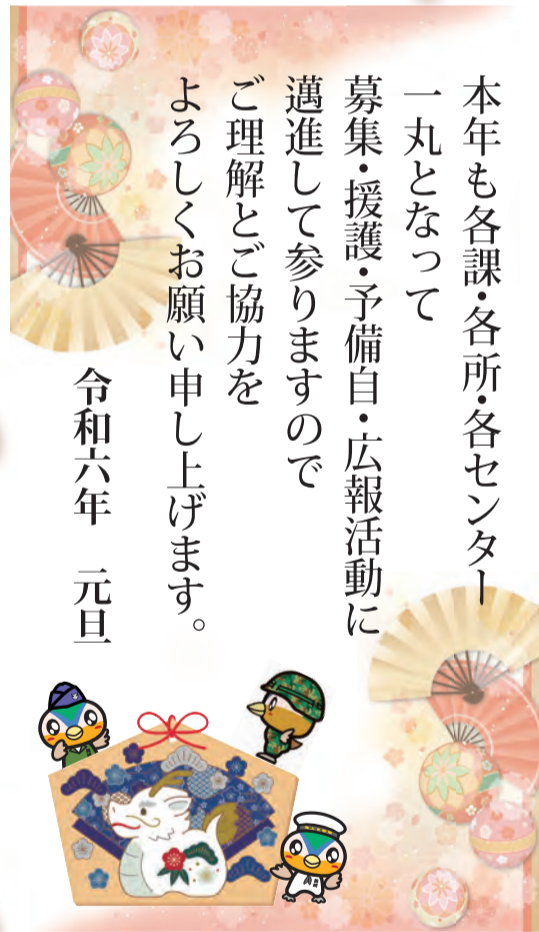
島原  
地域事務所

たのしく募集 つながりを深め  
どりよくを惜しまない  
しまばら地域事務所



対馬  
駐在員  
事務所

昇り龍のように飛躍  
できるよう頑張ります!



本年も各課・各所・各センター  
一丸となって  
募集・援護・予備自・広報活動に  
邁進して参りますので  
ご理解とご協力を  
よろしくお願い申し上げます。

令和六年 元旦



壱岐  
駐在員  
事務所

壱岐の地から確保出来るよう  
募集業務に挑戦の気概をもって  
取り組んでいきます。



上五島  
駐在員  
事務所

今年も地域密着!  
募集活動頑張ります!



五島  
駐在員  
事務所

今年も目標タツ成出来るよう  
所員一同頑張ります。



相浦  
駐屯地援護  
センター

今年も感謝と笑顔で  
大切に頑張ります!!



大村  
駐屯地援護  
センター

昇龍のごとく力強い  
援護業務を目指します。



長崎  
地域援護  
センター

何事も一笑懸命  
頑張ります!



自衛隊長崎地方協力本部OB会  
会長 三浦 正司

新年おめでとうございます。

世界・日本の各地で日夜、任務・職務にあるいは、厳しい教育訓練に勤しまれておられる長崎県出身の自衛隊員の皆様、協力各諸団体の皆様は、新鮮な清々しい気分で新年を迎えられたものと思います。

昨年を振り返りますと、世界は歴史の分岐点を迎え、国際社会は戦後最大の試練の時にあり、新たな危機の時代に突入しつつある国内外の情勢であります。

この度生じたイスラエルとパレスチナ問題は多岐にわたり政治的、歴史的、宗教的な要素があり、また、ロシアのウクライナ侵略は、国連安保理の常任理事国が、国際法を無視して主権国家を侵略し、核兵器による威嚇ともとれる言動を繰り返すという前代未聞の事態です。それに、中国は、核・ミサイル戦力を含め軍事力の質・量を急速に強化するとともに、東シナ海、南シナ海において、力による一方的な現状変更やその試みを継続・強化しています。そして、北朝鮮は、立て続けにミサイル発射を繰り返すなど、核・ミサイル開発を急速に進展させています。

新しい国家安全保障戦略、国家防衛戦略では、防衛省として、現有装備品を最大限活用するための、可動率の向上や弾薬の確保、主要な防衛施設の強

靱化への投資の加速、また、反撃能力として活用し得るスタンド・オフ防衛能力や無人アセットなど将来の防衛力の中核となる分野の強化といった点を重視しつつ、防衛生産・技術基盤の強化などにも、しっかりと取り組んでいくとあります。

しかし、どれだけ高度な装備品を揃えたところで、それを扱う「人」がいなければ防衛力は発揮できません。自衛隊員は防衛力の中核です。

この様ななか、自衛隊の編成・装備の見直しと充実、即応性の向上と戦闘・戦技能力向上のための厳しい教育訓練を求められ、一時の休みも無い状態での一年であったらうと察するとともにその労苦に敬意と感謝を申し上げます。

引き続き、同盟国及び関係国家機関と綿密な連携のもと、国民が安全・安心に暮らせるための万端の態勢の充実に推進して頂きます様お願いいたします。

自衛隊員、防衛省関係各位におかれましては、ご家族共々夫々のご家庭で、国内外の勤務地で、故郷の実家で、警戒・監視及び海賊対処などの任務の遂行中の洋上で令和六年の新年を迎えられ、この一年が皆様方にとり素晴らしい年である事を、ご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 長崎地本 各課・各所・各センター別 新年の抱負



総務課

たのしい、つらくない、どんな時でも、し(そ)うむかへ!



副本部長

空高く昇る龍のように勢いある年に!



援護課

皆様のお役に辰てるように全力をつくします!



募集課

竜に翼を得たる如くエネルギッシュな年に! めざせ! 目標タツ(辰)っせい!



# 南極観測船『しらせ』職業講話

## 訪問校 / 長崎県立諫早東高等学校



南極の氷に触れる生徒さん



講話を真剣に聞く生徒さん

自衛隊長崎地方協力本部 諫早地域事務所 (所長 佐藤 一郎 陸曹長) は11月7日(火)長崎県立諫早東高校において南極観測や気候変動に関する講話を実施した。講師には、海自第22整備補給隊(大村航空基地)所属の石川英明1等海尉を招いた。

本講師は、しらせに計4回の乗船経験があり、経験談を踏まえた講話により、全校生徒121名、職員14名の受講者に興味を湧かせ、南極観測や自衛隊の理解を深めてもらうことができた。

講話の最後に南極の水が披露され、手で触れたりパチパチと言う音を聞いたり学生・職員が普段できないような貴重な体験をした。

当該取組は、自衛隊への就職を直接的に促すものではなく、皆が興味を持つ「話題性」という観点からのアプローチにより、「自衛隊を知ってもらう、興味を持ってもらう」ことを目的とした取組であり、今年度長崎地本として力を入れているもの。

今年6月には大村地区の学校に対しても同様に実施した。諫早地域事務所は、引き続き多くの諫早市民及び募集対象者に自衛隊に対する理解を深めてもらい、志願者や入隊者の増加に繋がるよう、積極的な募集広報活動に努めていく。

(諫早地域事務所)

## 自衛隊長崎地方協力本部創立68周年記念行事

11月9日(木)、自衛隊長崎地方協力本部は、長崎市内のホテルにおいて、「自衛隊長崎地方協力本部創立68周年記念行事」を感謝状贈呈式並びに自衛隊長崎地方協力本部OB会主催による祝賀会の二部構成で実施した。

感謝状贈呈式では、自衛隊長崎地方協力本部の活動に対し日頃よりご協力を頂いている皆様に本部長から感謝状と記念品を贈呈した。

祝賀会においては、三浦正司自衛隊長崎地方協力本部OB会会長の主催者挨拶、長崎県知事代理 長崎県危機管理部長 今富洋祐様からご祝辞を頂いた。また、県内外の各自治体・企業等・協力諸団体及び各部隊長など、約160名の多くのご臨席を賜り盛大に行なった。

本部長は、「少子化による募集対象者人口の減少という厳しい採用環境の中であっても、優秀な人材を安定的に確保していかなければならず、募集対象者などに対して、自衛隊の任務や役割、職務の内容などを丁寧に説明し、確固とした入隊意志を持つ人材を募ってまいります。」と決意を述べるとともに、スライドショーにて自衛隊長崎地方協力本部の今年度成果を報告した。

自衛隊長崎地方協力本部は、これまで支えていただいた皆様のおかげをもちまして創立68周年を迎えることが出来ました。今後も「県民とのかけはしになる」を基本方針に、皆様と「連携」を図りながら「一致団結し、自衛官募集、就職援助及び予備自衛官等業務にまい進してまいりますので、引き続き皆様からのご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます」とともに、日々精進していききたいと思っております。



感謝状贈呈式の様子



OB会三浦会長ご挨拶



本部長挨拶

## 本部長感謝状受賞者の紹介

各協力団体の皆様ならびに地域の皆様におかれましては、平素より防衛省・自衛隊に対する深いご理解と御協力を賜り深謝申し上げます。各種業務において特に御功労があった感謝状受賞者を御紹介します。

**一般功労**  
長崎防衛協会 常任理事 安達浩平 様  
長崎防衛協会 常任理事 牧 文春 様

**募集功労**  
募集相談員 浦 克実 様  
株式会社博多大丸ハマクロス411 館長 久保田 従子 様  
理容でぐち 出口 幸廣 様

鶴鳴学園長崎女子高等学校 様  
長崎県立島原工業高等学校 様  
長崎県立北松浦高等学校 様  
長崎県立松浦高等学校 様  
長崎総合科学大学付属高等学校 様

**予備自衛官功労**  
有限会社 中央リース 様  
有限会社 福石自動車整備工場 松浦支店 様

**就職援助功労**  
エヌ・ティ 株式会社 様  
株式会社 トータル 様  
株式会社 堀内組 様  
セコム株式会社 長崎統轄支社 様

(順不同)

# 多用途支援艦 あまくさ 長崎出島岸壁 一般公開



多用途支援艦「あまくさ」艦長 出口学3等海佐は、令和5年11月8日(水)から11月10日(金)までの間、長崎港出島岸壁へ来港した。

多用途支援艦「あまくさ」は同艦「ひうち」型の3番艦として平成16年3月16日に就役している。

自衛艦の名称は、天象・気象・山岳・河川・名所・旧跡から名付けられており、「あまくさ」は海に囲まれた日本の名所の一つである九州の有明海の南から東シナ海へ続く熊本県天草諸島の「天草灘」より命名されており、九州とは深い関りを持っている。

「あまくさ」の主な任務は、海上自衛隊の自衛艦、航空機が行う訓練射撃等のための標的えい航支援、航行不能になった艦船のえい航、災害派遣における救助活動等である。

今回「あまくさ」が入港し、特別公開、一般公開を行ったのは、平日であったにも関わらず、多くの来訪者があり、中には、散歩中であつた方や幼稚園児等が笑顔で見学をしていた。

また、今回は募集広報以外の観点として、自治体の防災関係職員、警察消防海上保安庁といった公安系職員にも広く見学して頂き、地域との関係性深化も意図した機会とした。

自衛隊長崎地方協力本部は、今後も長崎県内の多くの県民の皆様に対する理解を深めることに努め、一人でも多くの志願者の増加に繋がるよう引き続き積極的な募集広報活動に努めていく。

(募集課 広報室)



■散歩中の方や幼稚園の園児がたくさん見学していました!



■制服を着用して記念撮影



■本部長と長崎地本所属海上自衛隊広報官



## 映画「沈黙の艦隊」 上映に伴う 募集広報活動



■人気の制服着用撮影会



■募集ブースに訪れた皆さん

した。上映開始日から初の日曜日となるこの日は、多くの観客で賑わい、広報ブースには本部長をはじめ自衛隊長崎地方協力本部の各所から海上自衛官男女5名が白い夏制服で広報を実施した。子ども用制服試着体験や佐世保に所属する護衛艦の紹介、海上自衛隊グッズの配布などで大いに盛り上がりを見せた。当映画を鑑賞し終えた方は自衛隊長崎地方協力本部の海上自衛官を見て、「うわー、本物だ」、「かっこいい」などと喜びの声があがり、部員との記念写真を撮る観客も多かった。自衛隊長崎地方協力本部長崎募集案内所は今後も長崎市の多くの市民の皆様に対する理解を深めることに努め、一人でも多くの志願者の増加に繋がるよう引き続き積極的な募集広報活動に努めていく。  
(長崎募集案内所)

自衛隊長崎地方協力本部長崎募集案内所(所長 我謝良彦2等陸尉)は、令和5年10月1日(日)に映画「沈黙の艦隊」上映に伴い長崎市にある商業施設の映画館において広報ブースを設置

## 人事異動

転入 令和5年12月22日付  
◎高射学校(下志津駐屯地)から本部総務課総務班長へ



3等陸佐 石原功一

転出 令和5年12月11日付  
◎佐世保出張所から佐世保基地業務隊へ  
海曹長 柴田 誠

転出 令和5年12月22日付  
◎本部募集課長から第5陸曹教育隊長(久留米駐屯地)へ  
2等陸佐 奇藤 浩

転出 令和5年12月22日付  
◎本部総務班長から第1高射科大隊中隊長(駒門駐屯地)へ  
3等陸佐 片桐 勝正

部内異動 令和5年12月22日付  
◎本部募集課課長補佐から募集課長へ  
3等陸佐 池田 秀樹

退職 令和5年11月19日付  
◎長崎地域援護副センター長  
3等陸佐 藤尾 伸吾

## 2024年男・年女



島原地域事務所 平田3等空曹  
龍の智慧を借りて知識を深める年にします!



島原地域事務所 鬼塚1等陸曹  
日々成長! ! !



佐世保出張所 吉福1等陸曹  
精励恪勤!



総務課 三枝事務官  
御城印集め始めます。



援護課 串崎事務官  
まだまだ、もう少し頑張ります。



副本部長 道喜事務官  
還暦ですけど  
なにか……。

自衛隊長崎地方協力本部 部員顔写真

令和6年1月1日現在

 総務課 総務班 立森 幸子 陸曹長	 総務課 人事班 本間 秀一 陸曹長	 総務課 会計班 江籠 智美 陸曹長	 総務課 総務班 嶋田 とも子 海曹長	 総務課 管理班 秀島 孝 陸曹長	 総務課 管理班 石橋 鉄也 陸曹長	 総務課 総務班長 石原 功一 3等陸佐	 総務課 総務課長 江嶋 真太郎 防衛事務官(6)	 副本部長 道喜 加津雄 防衛事務官(7)	 本部長 伊東 圭市 1等海佐
 総務課 管理班長 金崎 桂磨 防衛事務官(3)	 総務課 人事班長 三枝 裕未 防衛事務官(3)	 総務課 総務班 市原 真由美 防衛事務官(3)	 総務課 総務班 中村 真悟 防衛事務官(4)	 総務課 会計班長 稲澤 豊一郎 防衛事務官(4)	 総務課 総務班 久松 裕希 2等陸曹	 総務課 総務班 野口 勝弘 1等陸曹	 総務課 管理班 松本 聡子 1等陸曹		

 募集課 募集班 松本 好隆 1等陸曹	 募集課 広報班 峰 義隆 1等陸曹	 募集課 広報班 田平 雄一 1等陸曹	 募集課 募集班 荒木 義弘 陸曹長	 募集課 募集班 西村 修 陸曹長	 募集課 募集班 坂井 粘 准陸尉	 募集課 募集班 上山 直人 1等海尉	 募集課 企画班長 田村 秀孝 1等空尉	 募集課 募集班長 下平 伸一 1等陸尉	 募集課 募集課長 池田 秀樹 3等陸佐	 総務課 総務班 山本 誠二 非常勤隊員	 総務課 総務班 関戸 祐佳 防衛事務官(1)	 総務課 総務班 金城 拓海 防衛事務官(1)
 援護課 予備自班 林 竜也 防衛事務官(1)	 援護課 予備自班 大瀧 陽司 2等陸曹	 援護課 援護総括班 吉居 雅博 陸曹長	 援護課 予備自班長 遠藤 勇二 准陸尉	 援護課 援護総括班長 川上 晃一 防衛事務官(4)	 援護課 予備自室長 串崎 康也 防衛事務官(5)	 援護課 援護課長 竹島 正浩 防衛事務官(6)	 募集課 広報班 前田 明子 非常勤隊員	 募集課 企画班 松本 昂己 防衛事務官(1)	 募集課 募集経費係 江藤 大輔 防衛事務官(2)	 募集課 審査主任 平古場 慶 防衛事務官(3)	 募集課 広報班長 白石 智洋 防衛事務官(4)	 募集課 企画班 中武 桂子 2等空曹

 相浦地域援護センター長 多比良 輝彦 2等陸尉	 大村駐屯地援護センター 援護係 藤本 宏幸 非常勤隊員(竹松分室)	 大村駐屯地援護センター 援護係 松本 義孝 非常勤隊員	 大村駐屯地援護センター 援護係 石田 俊次 陸曹長	 大村駐屯地援護センター 援護係 香田 勝弘 陸曹長	 大村駐屯地援護センター 援護係長 太田 昭宏 陸曹長	 大村駐屯地援護センター 援護係長 斉藤 和明 准陸尉	 大村駐屯地援護センター センター長 清成 鋭 2等陸尉	 長崎地域援護センター 援護係 山道 信義 非常勤隊員	 長崎地域援護センター 総括係 溝口 将史 陸曹長	 長崎地域援護センター 副センター長 田中 眞一郎 1等空尉	 相浦駐屯地援護センター 援護係 前田 真里子 非常勤隊員	 相浦駐屯地援護センター 援護係長 岩永 新伍 防衛事務官(1)
-----------------------------------	---	---------------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	---------------------------------------	--------------------------------------	------------------------------------	---	--	---

 大村地域事務所 広報官 山口 隆博 陸曹長	 大村地域事務所 所長 上古 閑誠 2等陸尉	 大村地域事務所 広報官 大庭 義弘 非常勤隊員	 大村地域事務所 広報官 林 世奈 3等海曹	 大村地域事務所 広報官 島田 雄大 2等陸曹	 佐世保出張所 広報官 神部 寿文 2等陸曹	 佐世保出張所 広報官 川上 和孝 1等空曹	 佐世保出張所 広報官 吉福 郁 1等陸曹	 佐世保出張所 広報官 納所 彰 陸曹長	 佐世保出張所 所長 松本 良輔 1等海尉	 相浦駐屯地援護センター 援護係 西田 勝一 非常勤隊員	 相浦駐屯地援護センター 援護係 本村 眞弓 非常勤隊員	 相浦駐屯地援護センター 援護係長 高橋 貴彦 陸曹長
---------------------------------	---------------------------------	-----------------------------------	---------------------------------	----------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	--------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	---------------------------------------	---------------------------------------	--------------------------------------

 島原地域事務所 広報官 松本 おかり 1等陸曹	 島原地域事務所 広報官 宮本 福士 1等陸曹	 島原地域事務所 所長 野口 秀貴 1等陸尉	 島原地域事務所 広報官 陽 康忠 3等海曹	 島原地域事務所 広報官 横田 美幸 2等海曹	 諫早地域事務所 広報官 吉元 勇人 2等陸曹	 諫早地域事務所 広報官 渡邊 敦彦 2等陸曹	 諫早地域事務所 広報官 加藤 多嘉子 1等陸曹	 諫早地域事務所 所長 佐藤 一郎 陸曹長	 大村地域事務所 広報官 山田 達也 3等海曹	 大村地域事務所 広報官 小玉 章博 3等空曹	 大村地域事務所 広報官 中野 貴昭 1等陸曹	 大村地域事務所 広報官 片田 みゆき 海曹長
-----------------------------------	----------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------

 長崎募集案内所 広報官 深田 翔夢 3等海曹	 長崎募集案内所 広報官 浦 健剛 2等空曹	 長崎募集案内所 広報官 峰松 克也 陸曹長	 長崎募集案内所 広報官 高山 寛雄 陸曹長	 長崎募集案内所 所長 我謝 良彦 2等陸尉	 琴海地域事務所 広報官 池崎 順一 1等陸曹	 琴海地域事務所 広報官 船越 早人 1等空曹	 琴海地域事務所 広報官 山方 浩一 陸曹長	 琴海地域事務所 所長 赤波江 真治 准陸尉	 島原地域事務所 広報官 平田 侑衣 3等空曹	 島原地域事務所 広報官 永川 善大 2等空曹	 島原地域事務所 広報官 山口 雄志 1等海曹	 島原地域事務所 広報官 鬼塚 祐樹 1等陸曹
----------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------

 五島駐在員事務所 広報官 川道 弥徳 非常勤隊員	 五島駐在員事務所 所長 浦松 功将 陸曹長	 上五島駐在員事務所 所長 赤波江 博史 陸曹長	 対馬駐在員事務所 広報官 小島 圭子 非常勤隊員	 対馬駐在員事務所 所長 木村 裕二 陸曹長	 舌岐駐在員事務所 広報官 長嶋 めぐみ 非常勤隊員	 舌岐駐在員事務所 所長 柳澤 武美 1等陸曹	 長崎募集案内所 広報官 満居 浩 非常勤隊員
------------------------------------	---------------------------------	-----------------------------------	------------------------------------	---------------------------------	-------------------------------------	----------------------------------	----------------------------------

